

調査報告 8

東アジア・ASEAN経済研究センター（ERIA）の概要

中村学園大学 流通科学部

明 神 実 枝

中村学園大学流通科学研究所が2013年8月に行った共同調査の報告として、東アジア・ASEAN 経済研究センター（ERIA）の1. 概要、2. 主な研究活動について整理する。

1. ERIA の概要

・基本コンセプト¹

東アジア・ASEAN 経済研究センター（Economic Research Institute for ASEAN and East Asia: ERIA）はASEAN 事務局と16か国の研究機関が緊密に連携する機関である。ERIA は主に政策研究を実施し、その成果を普及させ、分析的な政策提言を地域会議の首脳や閣僚に対して行う。中小企業の貿易・投資、人材育成、インフラ、エネルギーなどの幅広い分野に取り組み、地域の諸活動に貢献することによって東アジアの経済統合を推進することを狙

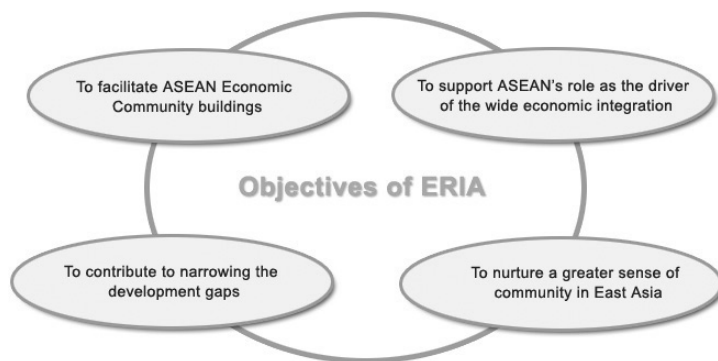
いとしている。

ERIA の目的は以下の図の通り、「ASEAN 経済コミュニティビルディングの推進」、「経済統合の推進する役割の担い手としてのASEAN の支援」、「経済発展の格差の是正」、「東アジアのコミュニティ意識の養成」の4点である。

・背景

ASEAN と東アジア地域では高い経済成長を実現してきた一方で、域内格差、地域連結性、気候変動、環境問題、食糧・エネルギー、安全保障など、対処すべき様々な課題が山積している。これらの課題に対して、アジア全体の地域政策を調整する中核となる国際機関が必要であるという認識の下、2006年8月23日の第13回ASEAN 経済大臣会合にて、ERIA 設立が提唱された。²

【図：ERIA の目的】



出所：ERIA 公式サイト－「Basic Concept」

1 ERIA 公式サイト－「Basic Concept」

2 ERIA 概要資料「東アジア・ASEAN 経済研究センター（ERIA）」

・設立

2007年11月21日の第3回東アジアサミット (East Asia Summit: EAS) において、EAS 各国首脳は ERIA の正式設立に合意した。EAS 各国とは、ASEAN10カ国 (ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム) と日本、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランドの計16か国である。2008年6月3日に ASEAN 事務局で ERIA 設立理事会が開催され、ERIA が正式に設立された。本部はジャカルタ (インドネシアの首都) にあり、事務総長は西村英俊氏である。

・活動

ERIA は ASEAN 事務局、東アジア16か国の研究機関と密接に連携しながら、政策研究を実施し、研究成果を普及させ、研究成果を踏まえた政策提言を行う、という活動に取り組んでいる。³

－政策研究

ERIA は「経済統合の深化」、「発展格差の是正」、「持続的経済発展」を主要な3つの柱と位置づけて研究活動を実施している。研究対象となる分野は貿易・投資推進、グローバル化、中小企業振興、人材育成、インフラ開発、エネルギー、環境問題など幅広い。

－政策普及

ERIA は地域の共同体意識の醸成、域内の産学官の幅広い関係者との意見交換の推進、研究成果の普及を目的としたセミナー・シンポジウムを開催している。また、政策研究能力を強化し、地域開発のための知的基盤を確保することを目的としたキャパシティ・ビルディングプログラムも実施している。

－政策提言

東アジアサミットや ASEAN サミット、関連閣僚会合からの政策研究要請の下、

ERIA は研究を実施し、その成果を各種サミットや関連閣僚会合において提言し、政策の実現を推進している。

2. 主な研究活動

既に紹介したように、ERIA は「経済統合の深化」、「発展格差の是正」、「持続的経済発展」を主要な3つの柱と位置づけている。具体的な研究は EAS メンバー国と地域の研究機関ネットワークの要請に基づいて実施されている。2012年度の主なワークプログラムは以下の通りである。⁴

【研究項目】

経済統合の深化・拡大

AEC スコアカード/AEC ブループリント中間レビュー/FTA マッピング (ASEAN+1 FTA/EPAs) /マクロ経済高頻度状況分析モデル

コネクティビティーと産業開発の向上を通しての ASEAN と東アジアの開発格差の是正

ASEAN コネクティビティーマスタープラン・アジア総合開発計画の実施加速支援/ASEAN SME 政策インデックス/東アジアのイノベーションキャパシティの向上/災害による経済・福祉への影響

経済の持続可能な発展を達成

省エネ政策/エネルギー市場統合/バイオ燃料の活用/ヘルスケア ICT 政策/グリーン開発戦略/3R 政策

以上のような研究を ERIA は要請に基づいて実施している。また、ERIA は研究成果の普及を目的として様々なシンポジウム・セミナーの開催し、ASEAN や EAS に研究成果を踏まえた政策提言の実現を促している。

3 ERIA 概要資料「東アジア・ASEAN 経済研究センター (ERIA)」

4 ERIA 概要資料「ERIA 活動の歩み」(2013年4月1日 ERIA 事務総長 西村英俊)、s.54.

※本調査に際してERIAの後藤様にはインタビュー調査の機会を与您にいただき、また各種資料やデータのご提供をいただいた。ここに記して、改めて感謝の意を表したい。ただし、本稿における誤謬は、すべて筆者の責に帰するものである。

参考資料

ERIA 概要資料「東アジア・ASEAN 経済研究センター（ERIA）」
ERIA 概要資料「ERIA 活動の歩み」（2013年4月1日 ERIA 事務総長 西村英彦）

ERIA 公式サイト <http://www.eria.org/>
（取得日2013年11月30日）

ERIA 公式サイト — 「Basic Concept」
http://www.eria.org/about_eria/basic.html（取得日2013年11月30日）

ERIA 公式サイト — 「Outcomes of the 45th AEM Meeting and Related Meetings」
<http://www.eria.org/news/FY2013/08/outcomes-of-the-45th-aem-meeting-and-related-meetings.html>（取得日2013年11月30日）